



としょかん

白根小図書館だより

平成28年3月14日

横浜市立白根小学校

校長 持丸 隆一

人気作家川崎美羽先生が
白根小図書室に来てくれました！

2月24日

みんなが先生に聞きました！

- ・Q イケカジを書いたきっかけは？
A 小学4年生の息子が家事の大変さをわかって、「お母さん、いつもありがとう」と言ってくれたのがうれしくて、家事のできる子になってほしいという気持ちから書きました。
- ・Q どうして作家になったのですか？
A 19歳の時、よく通っていた本屋で、作家になることをすすめられた(スカウト)からです。
- ・Q 葵ちゃんのモデルは？
A 自分(川崎先生)です。
- ・Q 一冊の本を書くのにかかる時間は？
A 3か月くらいです。
- ・Q 作家になってよかったことは？
A 家で仕事ができることです。
- ・Q 本を書いているときはどんなきもち？
A ひたすら妄想して書いています。
- ・Q 好きな作家は？
A 星新一さんです。
- ・Q 自分の書いた本の中のお気に入り？
A 「小説 映画 髻の形」です。
- ・Q 作家の前のお仕事は？
A 建築事務所の秘書です。



みんなの質問に答える川崎先生。



みんなで記念写真を撮りました！

今回のイベントをきっかけに、読書や作家に興味を持ち、たくさんの本に出会って心を豊かにすることにつながれば、とてもうれしいです。

3月9日のタウンニュースで紹介されました！

人気作家に質問

児童、川崎美羽さんと交流

白根小学校（中白根／持丸隆一校長）で2月24日、旭区内在住の児童書作家で



質問に答える川崎さん（左）

ある川崎美羽さん（今月号人物風土記で紹介）を迎えたトークイベントが開催され

た。川崎さんの著作は、同校の図書室でも人気を博しており、同企画には4年から6年まで、多くの児童が参加した。

同企画では、「1冊の本を書くのはどれくらいの時間がかかりますか」「主人公のモデルはいますか」など、児童らが川崎さんに作品などについて

の質問を投げかけた。

参加した女子児童（6年）

は、「本を書く大変さが分かった。頑張っていてすごかった」と思った」と同会を振り返って感想を話した。川崎さんは「作家はなかなか読者の人との交流がない。生の声を聞いて、本当に（自分の本を）読んでくれてくれるんだと実感した」と笑顔を見せた。持丸校長は「児童らにとって、身近に感じられる本の作者との交流は本当に貴重な機会だったと思う」と語った。

川崎さんの代表作としては『イケカジなぼくら』（10巻／角川つばさ文庫）や『小説映画聲の形』（上・下／KCデラックスラノベ文庫）などがある。

白根小学校さま

川崎先生からサインをもらいました！

2017.2.24